



平成 20 年 3 月 17 日

各 位

会 社 名 株式会社フェローテック  
本社所在地 東京都中央区京橋一丁目 4-14  
代表者名 代表取締役社長 山村 章  
( J A S D A Q コード番号 6890 )  
問合せ先 総務部長 若木啓男  
TEL 03-3281-8186

### 太陽電池向けシリコン多結晶炉の販売に関するお知らせ

当社は、下記のとおり新製品である太陽電池向けシリコン多結晶炉「HXH270/HXH450」を開発しラインナップに加え、本年 4 月より販売いたしますのでお知らせいたします。

また、3 月 18 日から開催のセミコンチャイナ 2008 で発表展示を行います。

### 記

#### 1. 販売に至るまでの経緯

世界的な環境問題の高まりの中で、当社グループは新エネルギーである太陽電池産業向けにシリコン単結晶引上装置の販売を進めており、中国企業数社から大口受注を得た後、月産 30 台を目標に生産拡大を順次進めてまいりました。

今般、さらに拡大を見せる太陽電池市場に対応するため、これまでの単結晶引上装置に加え、需要が大きい多結晶シリコン太陽電池用のシリコン多結晶炉の販売を開始いたします。

#### 2. 新製品の概要

- (1) 新製品名 太陽電池向けシリコン多結晶炉「HXH270/HXH450」
- (2) 価格 未定
- (3) 内容

現在、市場で流通している太陽電池の 80%程度が結晶系シリコン太陽電池と言われておりますが、結晶系の中では単結晶型と多結晶型に大きく区分されています。一般的に両者を比較いたしますと単結晶型は発電効率が優位であるが製造コスト面で劣り、多結晶型は発電効率が劣るが製造コスト面で優位であるなどの長所、短所があげられます。

多結晶シリコンの製造は、原材料のポリシリコンを石英角槽に充填し、溶解、固化、冷却させ結晶化するキャスト法が一般的であり、単結晶製造に比べ 1 台で大量に製造

できる点が特徴です。

当社グループの顧客である中国大手太陽電池関連メーカー各社は、単結晶シリコン並びに多結晶シリコンの両方を製造しており、本年夏以降に世界のポリシリコンメーカーから2007年の45千トンから80千トン程度に増産するとのアナウンスがあり、顧客から原材料の供給を前に、当社子会社の上海漢虹精密機械有限公司に対しシリコン多結晶炉の開発、販売を強く求めていました。

当社グループでは、これに対応し開発を進めておりましたが、3月18日に上海で開催されるセミコンチャイナ2008において、新製品であるシリコン多結晶炉の発表及び実機の展示を行い、同時に受注を開始いたします。新製品は、270Kチャージ型と450Kチャージ型の2機種をリリースいたします。

#### (4) 多結晶炉の特徴

- ①PCによる集中制御およびプロセス監視システム。英語、中国語、日本語に対応。
- ②レシピに基づく自動運転が可能。プロセス中での調整可能。
- ③PID制御におけるパラメータの設定が可能。高度なプロセス要求にこたえられるソフト設計を実現。
- ④ユニット式の装置で構成され、マルチ化が容易。
- ⑤約900mm角の石英坩堝を使用し、450kgまでのインゴットの製造が可能。
- ⑥チャンバー下面にスピル受け皿を設置する等安全性に配慮した設計を実現。
- ⑦稼動部分の少ないシンプルな構造により、経済性に優れた装置。

### 3. 新製品の売上等への影響

当会計年度（平成20年3月期）の連結業績に与える影響はありません。決算発表時（平成20年5月下旬予定）に、本製品を含めた平成21年3月期連結業績予想として公表いたします。

以上